

第51回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、令和元年5月に実施しました「第51回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様に心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

令和元年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 無作為抽出による1,400人
- ・調査方法 郵送留置・訪問回収法
- ・回収数(回収率) 1,025人 (73.2%)
- ・調査時期 令和元年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

【調査項目】

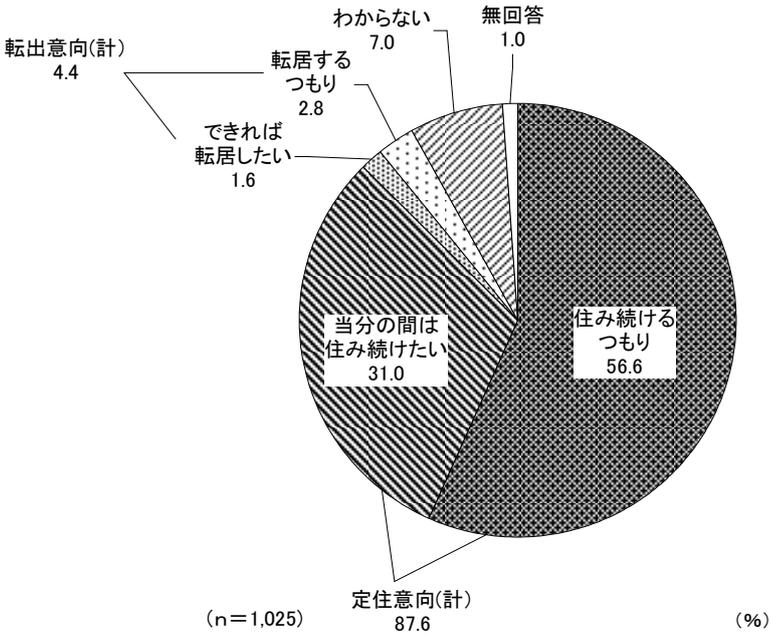
1. 定住性と生活環境について
2. 健康と医療、社会参加活動状況について
3. 地域防災について
4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について
5. 区の情報について
6. 子育て支援に関する意向について
7. 商店街について
8. 高齢者在宅支援について
9. 環境に配慮した行動について
10. 運動・スポーツについて
11. 区議会活動について
12. 選挙について
13. 水害ハザードマップの認知度について
14. その他の区政について

1. 定住性と生活環境について

定住意向

『定住意向（計）』が9割近く

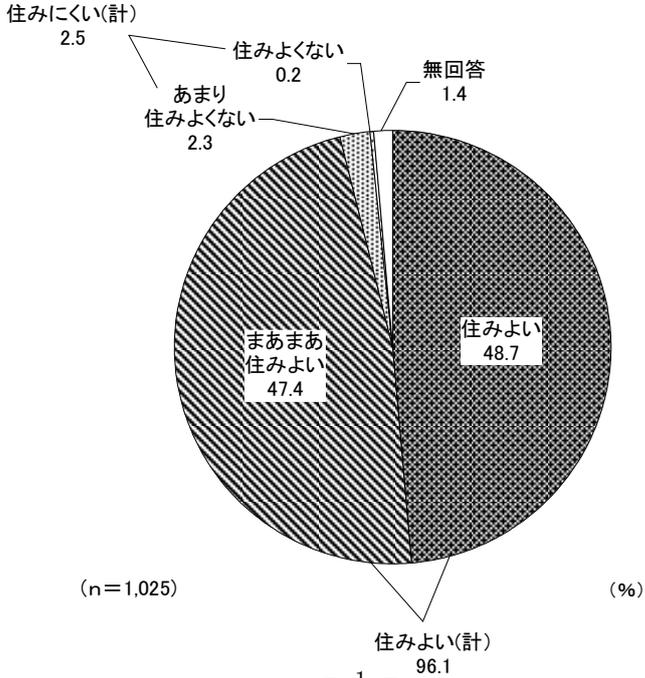
- ◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」（56.6%）が6割近くで最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」（31.0%）を合わせた『定住意向（計）』（87.6%）は9割近くとなっています。一方、「できれば転居したい」（1.6%）と「転居するつもり」（2.8%）を合わせた『転出意向（計）』（4.4%）はわずかとなっています。



住みやすさ

『住みよい（計）』が9割半ば

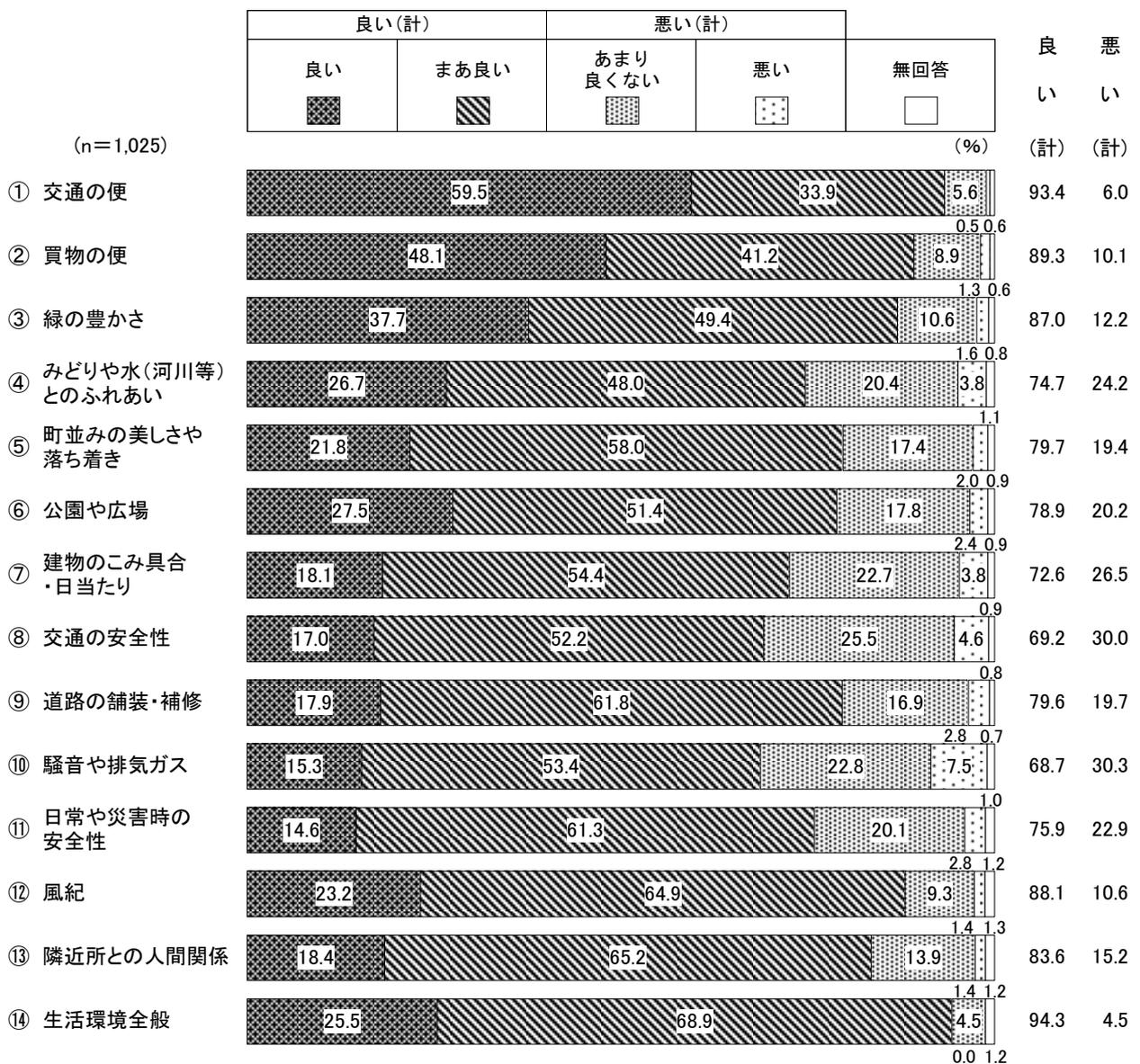
- ◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いか聞いたところ、「住みよい」（48.7%）と「まあまあ住みよい」（47.4%）を合わせた『住みよい（計）』（96.1%）は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みよくない」（2.3%）と「住みよくない」（0.2%）を合わせた『住みにくい（計）』（2.5%）はわずかとなっています。



生活環境の評価

<生活環境全般>の『良い(計)』が9割半ばで高評価

- ◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い(計)』は【生活環境全般】(94.3%)が9割半ばで最も高く、次いで【交通の便】(93.4%)、【買物の便】(89.3%)、【風紀】(88.1%)、【緑の豊かさ】(87.0%)などの順になっています。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』は【騒音や排気ガス】(30.3%)と【交通の安全性】(30.0%)が3割で高く、次いで【建物のこみ具合・日当たり】(26.5%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(24.2%)、【日常や災害時の安全性】(22.9%)などの順になっています。

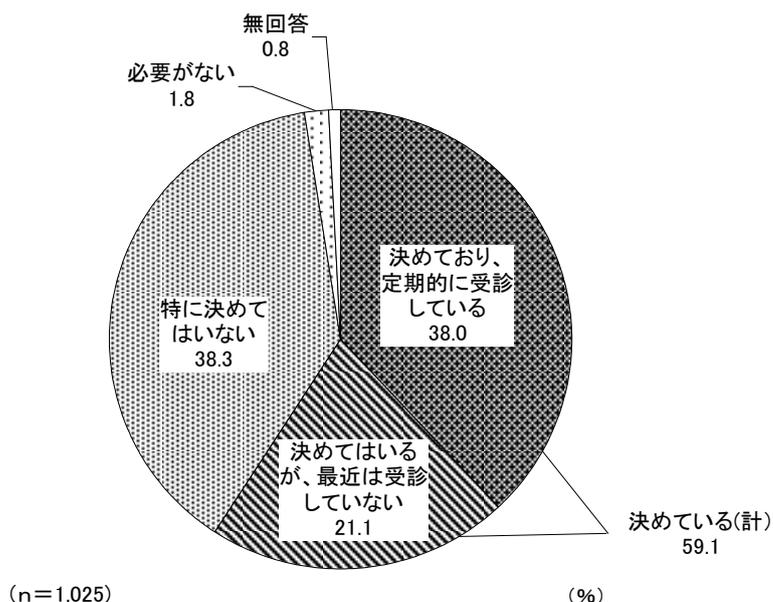


2. 健康と医療、社会参加活動状況について

かかりつけ医の有無

かかりつけの医者『決めている（計）』人がほぼ6割

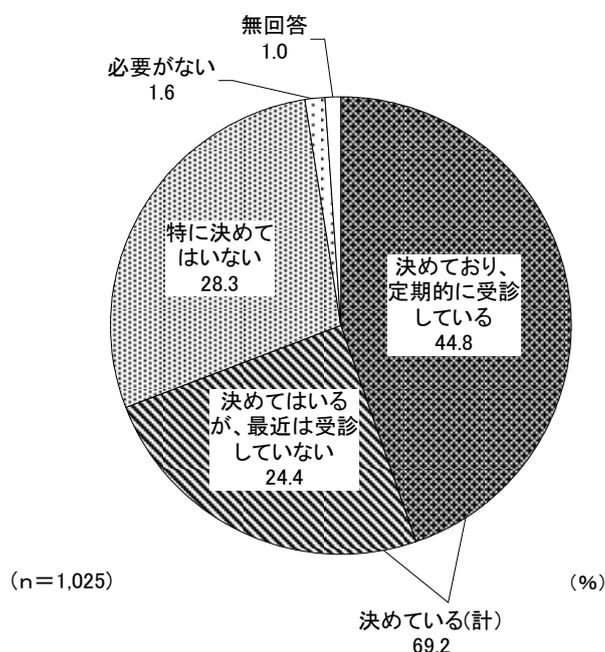
- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的を受診している」(38.0%)が4割近くで、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(21.1%)を合わせた『決めている（計）』(59.1%)はほぼ6割となっています。一方、「特に決めてはいない」(38.3%)は4割近く、「必要がない」(1.8%)はわずかとなっています。



かかりつけ歯科医の有無

かかりつけの歯科医『決めている（計）』人がほぼ7割

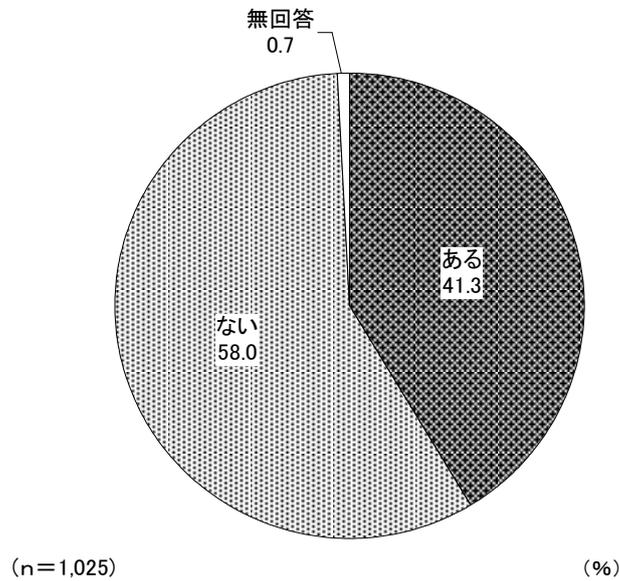
- ◆ かかりつけの歯科医を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的を受診している」(44.8%)が4割半ばで最も高く、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(24.4%)を合わせた『決めている（計）』(69.2%)はほぼ7割となっています。一方、「特に決めてはいない」(28.3%)は3割近く、「必要がない」(1.6%)はわずかとなっています。



かかりつけ薬局の有無

かかりつけの薬局が「ある」人が4割を超える

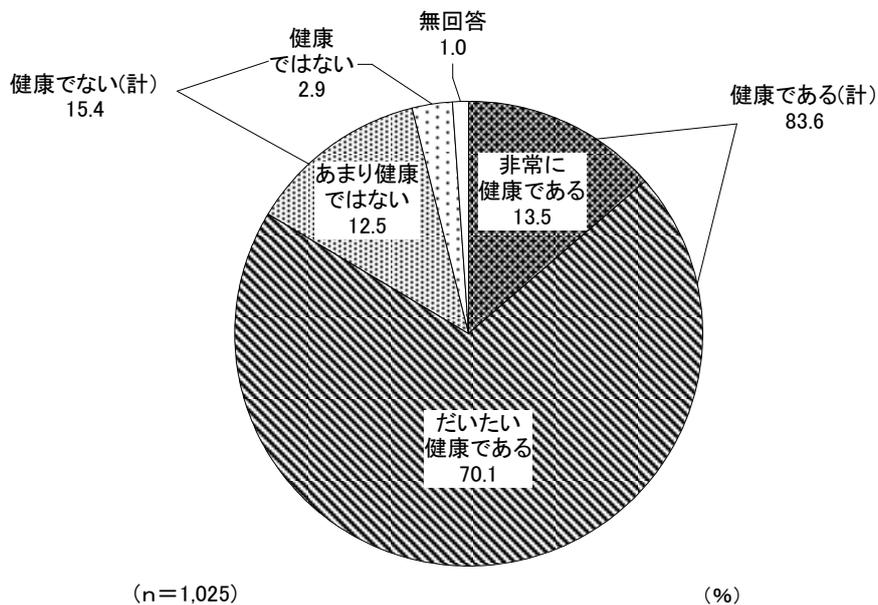
- ◆ かかりつけの薬局を決めているか聞いたところ、かかりつけが「ある」(41.3%)は4割を超えています。一方、かかりつけが「ない」(58.0%)が6割近くとなっています。



健康状態

『健康である(計)』が8割を超える

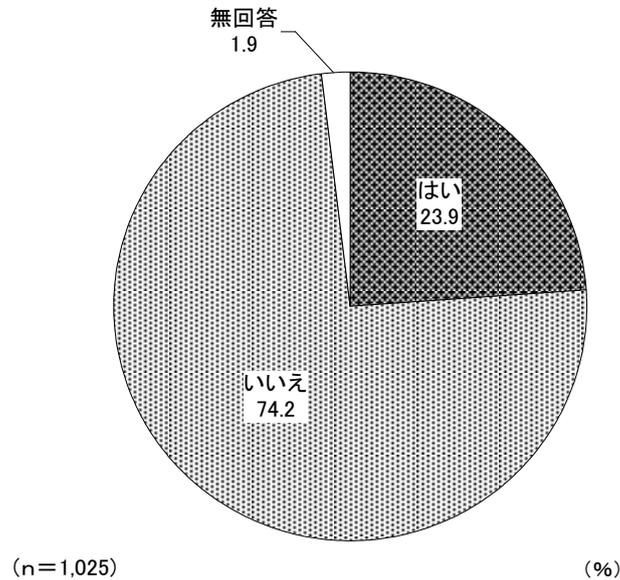
- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」(70.1%)が7割で、これに「非常に健康である」(13.5%)を合わせた『健康である(計)』(83.6%)は8割を超えています。一方、「あまり健康ではない」(12.5%)と「健康ではない」(2.9%)を合わせた『健康でない(計)』(15.4%)は1割半ばとなっています。



救急医療体制への不安感

「はい」(不安を感じる)が2割を超える

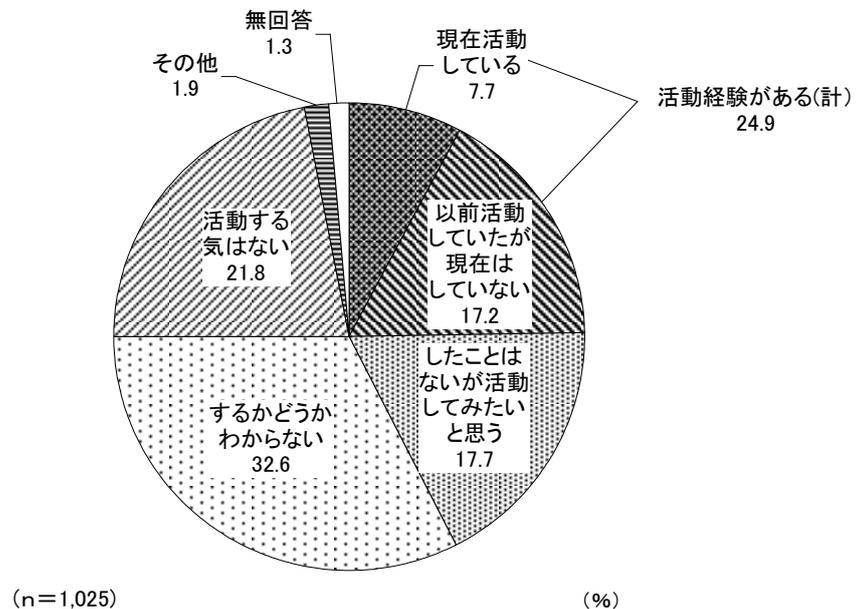
- ◆ 杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)に不安を感じるか聞いたところ、「はい」(23.9%)は2割を超え、「いいえ」(74.2%)が7割半ばとなっています。



ボランティア活動経験

『活動経験がある(計)』が2割半ば

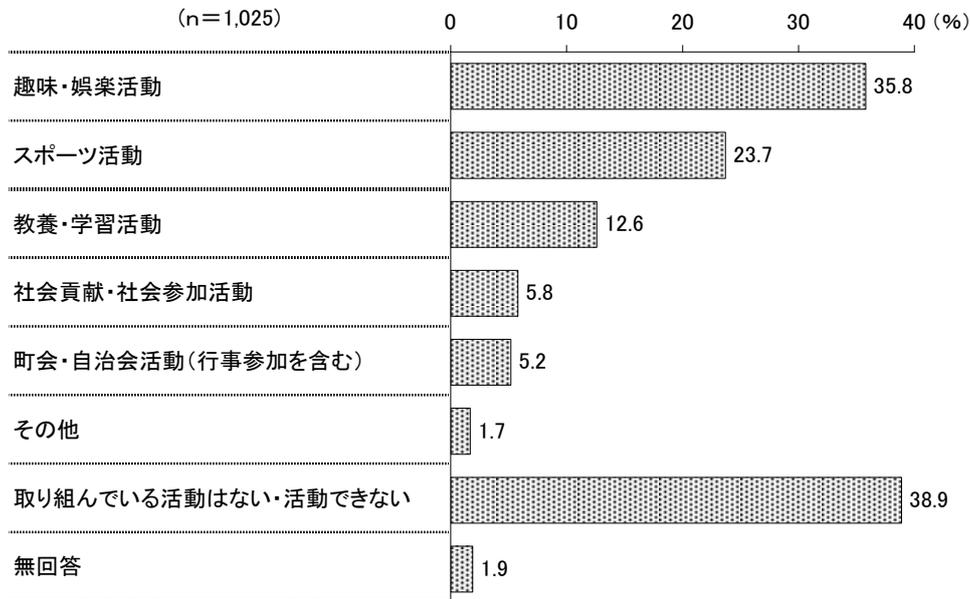
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」(7.7%)と「以前活動していたが現在はしていない」(17.2%)を合わせた『活動経験がある(計)』(24.9%)は2割半ばとなっています。「したことはないが活動してみたいと思う」(17.7%)は2割近く、「するかどうかわからない」(32.6%)は3割を超え、「活動する気はない」(21.8%)は2割を超えています。



社会参加活動状況

「趣味・娯楽活動」が3割半ば

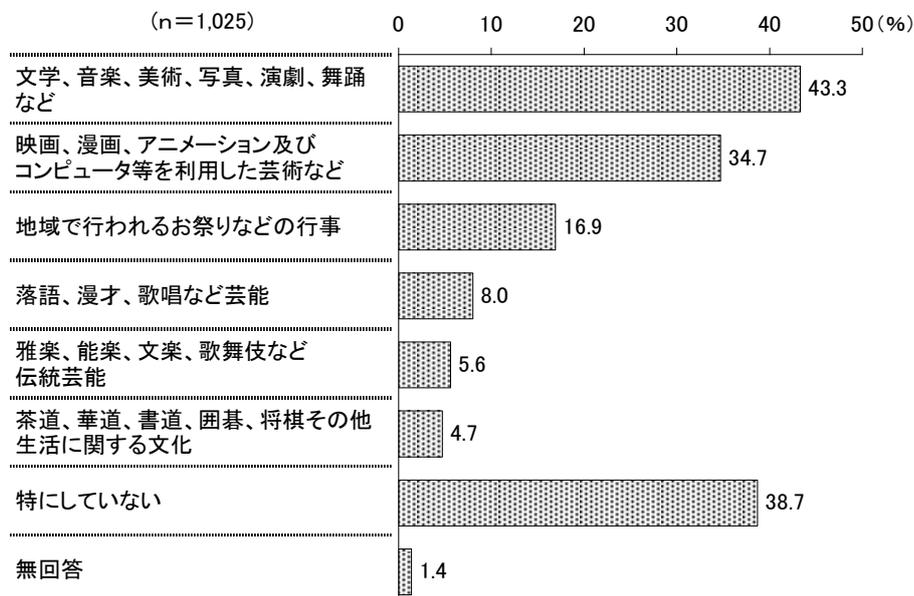
- ◆ 取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動について聞いたところ、「趣味・娯楽活動」(35.8%)が3割半ばで最も高く、次いで「スポーツ活動」(23.7%)、「教養・学習活動」(12.6%)、「社会貢献・社会参加活動」(5.8%)、「町会・自治会活動(行事参加を含む)」(5.2%)の順になっています。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(38.9%)は4割近くとなっています。



文化・芸術活動の有無

「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が4割を超える

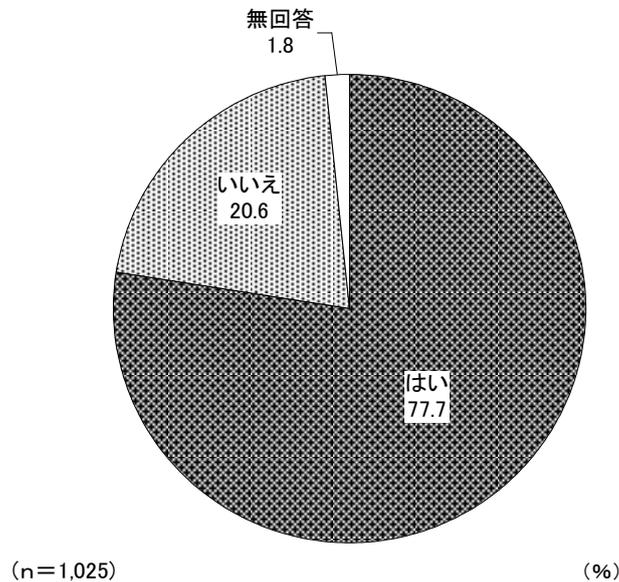
- ◆ 文化・芸術活動の有無について聞いたところ、「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(43.3%)が4割を超えて最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(34.7%)、「地域で行われるお祭りなどの行事」(16.9%)、「落語、漫才、歌唱など芸能」(8.0%)などの順になっています。一方、「特にしていない」(38.7%)は4割近くとなっています。



生きがいの有無

「はい」(感じている)が8割近く

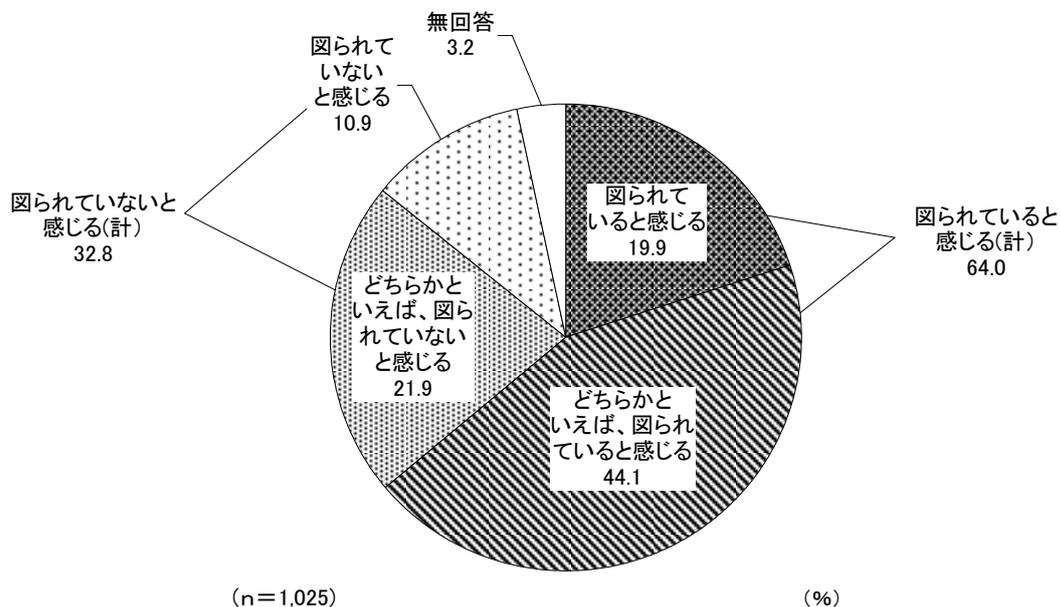
- ◆ 生きがいを感じているか聞いたところ、「はい」(77.7%)が8割近く、「いいえ」(20.6%)はほぼ2割となっています。



仕事と生活の調和に対する意識

調和が『図られていると感じる(計)』が6割半ば

- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、図られていると感じる」(44.1%)が4割半ばで、これに「図られていると感じる」(19.9%)を合わせた『図られていると感じる(計)』(64.0%)は6割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、図られていないと感じる」(21.9%)と「図られていないと感じる」(10.9%)を合わせた『図られていないと感じる(計)』(32.8%)は3割を超えています。

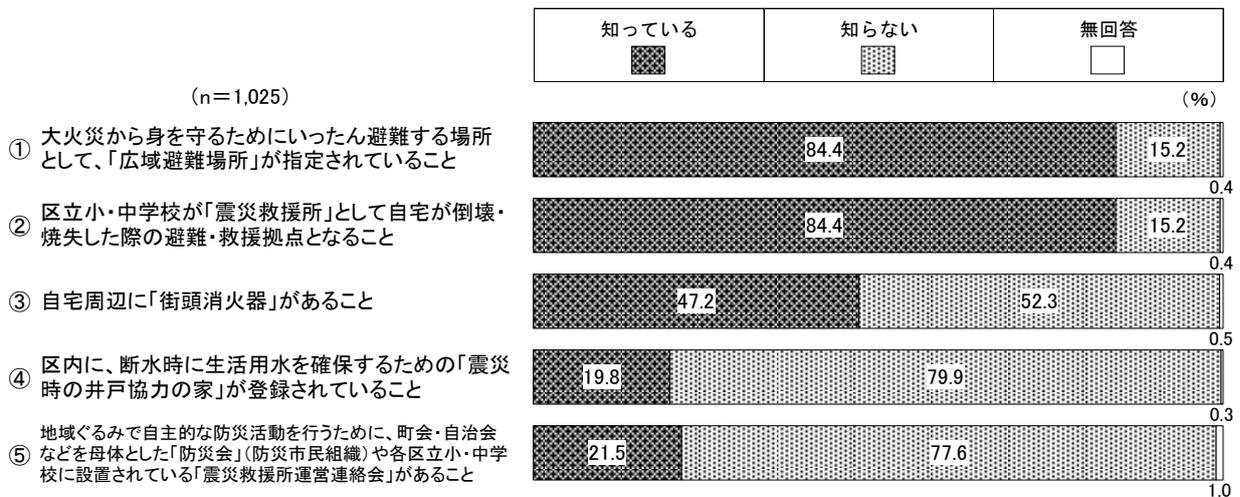


3. 地域防災について

震災対策に関する周知度

【広域避難場所】と【震災救援所】を「知っている」人が8割半ば

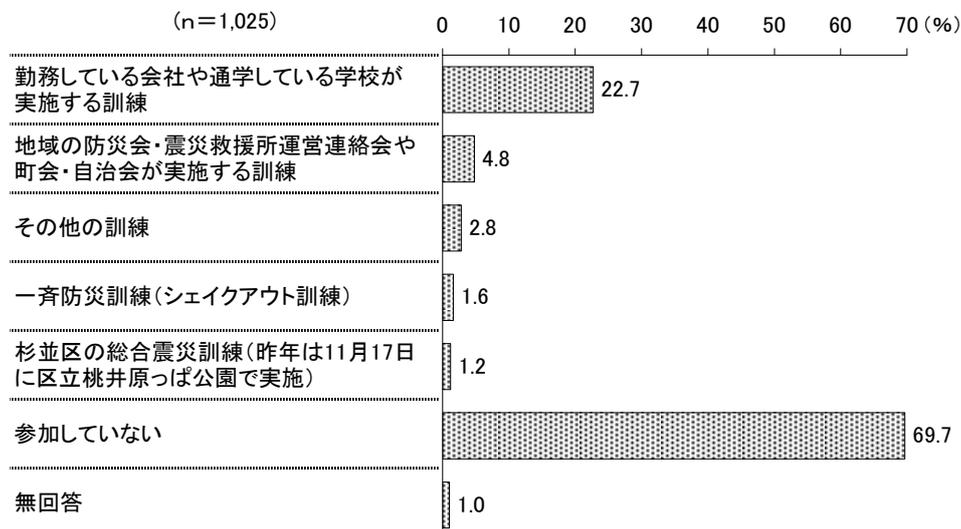
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【広域避難場所】と【震災救援所】(ともに84.4%)で8割半ばと高い割合を占めていますが、【街頭消火器】(47.2%)は5割近く、【防災会(防災市民組織)・震災救援所運営連絡会】(21.5%)は2割を超え、【震災時の井戸協力の家】(19.8%)は2割であり、3項目で過半数を下回っています。



防災訓練の参加状況

「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」が2割を超える

- ◆ この1年の間に参加した防災訓練は何か聞いたところ、「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」(22.7%)が2割を超えて最も高く、次いで「地域の防災会・震災救援所運営連絡会や町会・自治会が実施する訓練」(4.8%)などの順になっています。一方、「参加していない」(69.7%)は7割となっており、何らかの訓練に参加した人は約3人に1人となっています。

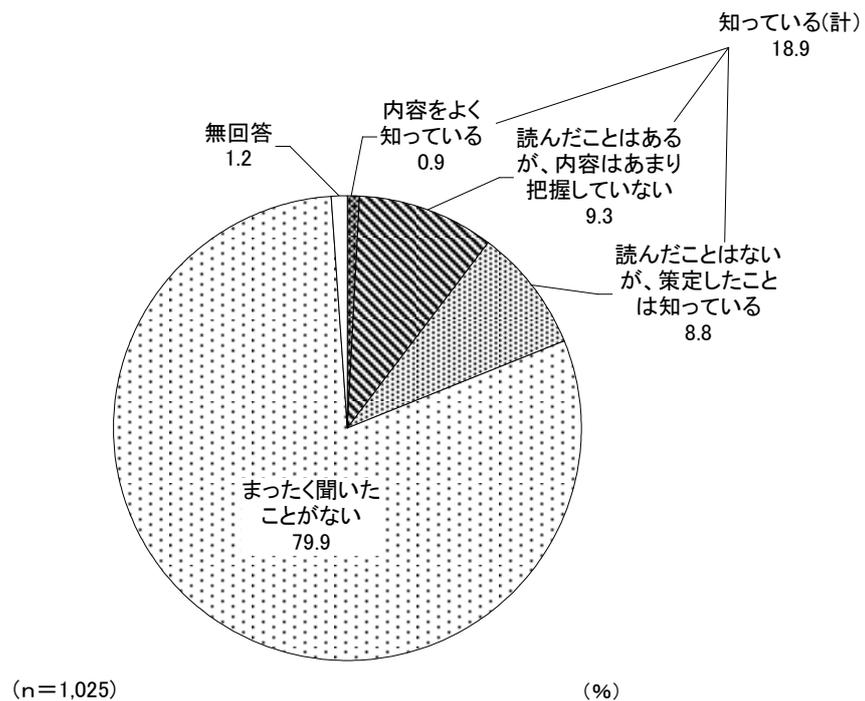


4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について

「杉並区基本構想（10年ビジョン）」の認知度

『知っている（計）』人が2割近く

- ◆ 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」（79.9%）が8割となっています。「内容をよく知っている」（0.9%）、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」（9.3%）、「読んだことはないが、策定したことは知っている」（8.8%）を合わせた『知っている（計）』（18.9%）は2割近くとなっています。

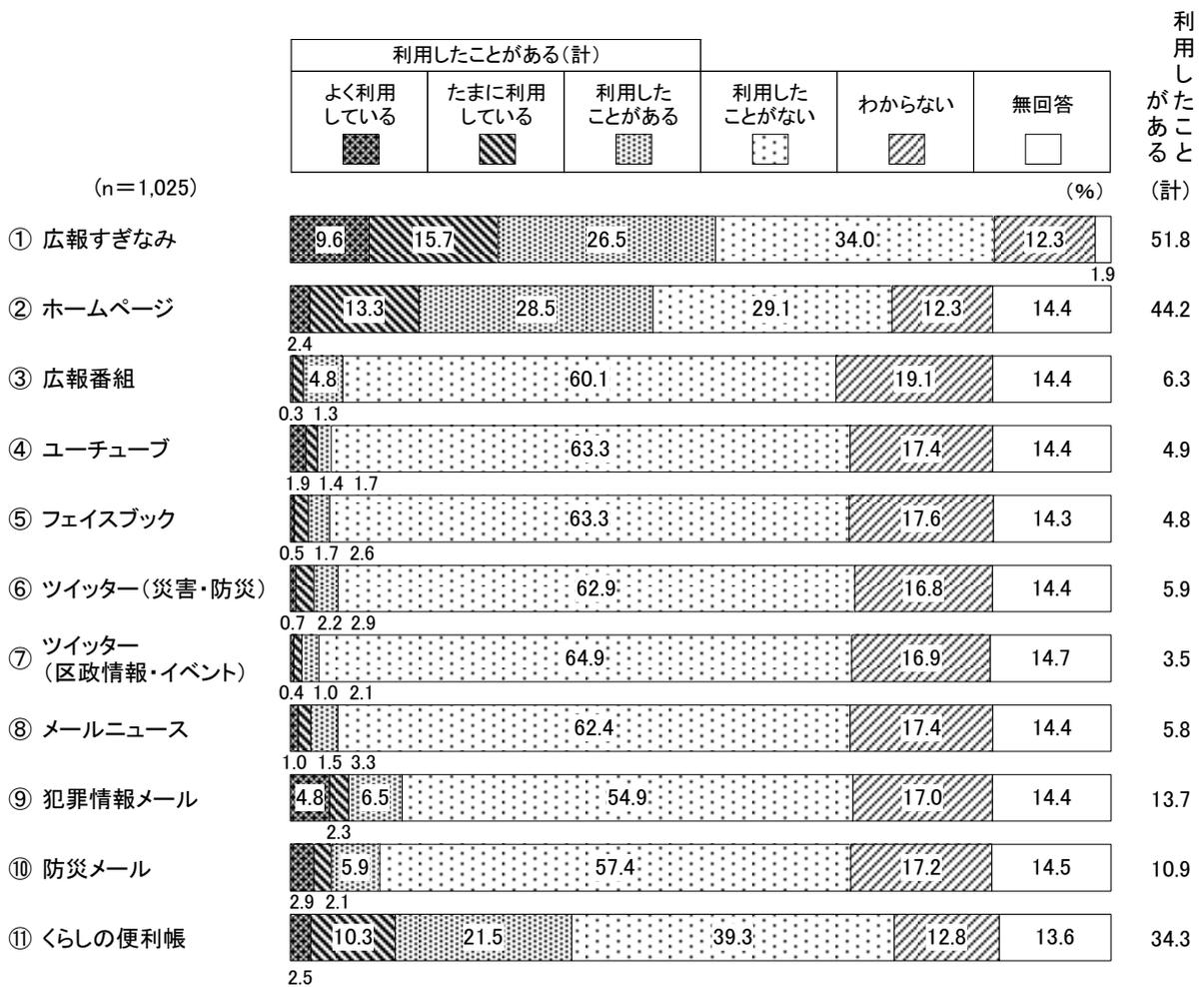


5. 区の情報について

区の広報媒体等の利用状況

【広報すぎなみ】を『利用したことがある（計）』人が5割を超える

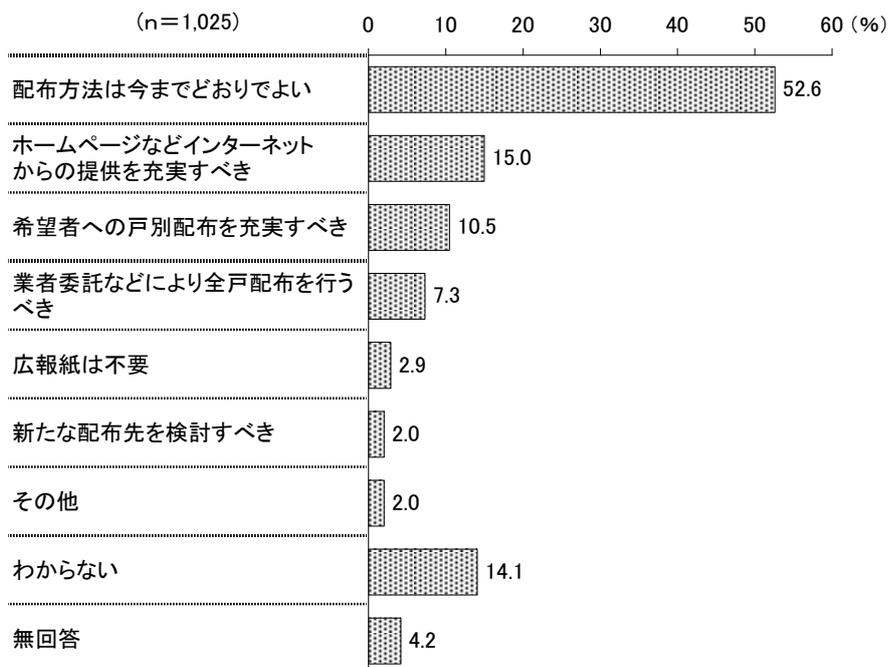
- ◆ 区の広報媒体等の利用状況について聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用したことがある（計）』は、【広報すぎなみ】（51.8%）が5割を超えて最も高く、次いで【ホームページ】（44.2%）、【くらしの便利帳】（34.3%）、【犯罪情報メール】（13.7%）などの順になっています。



「広報すぎなみ」の配布方法

「配布方法は今までどおりでよい」が5割を超える

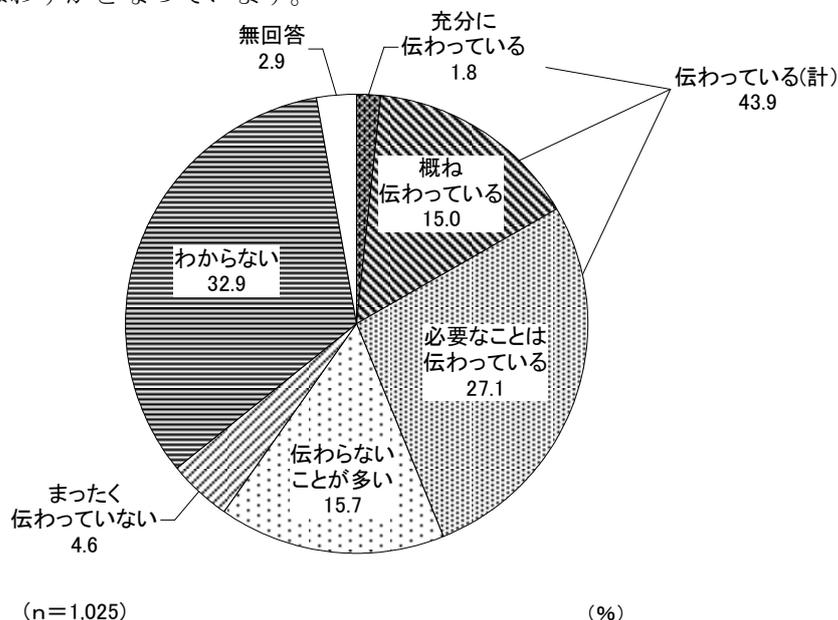
- ◆ 「広報すぎなみ」の配布方法について聞いたところ、「配布方法は今までどおりでよい」(52.6%)が5割を超えて突出しています。次いで「ホームページなどインターネットからの提供を充実すべき」(15.0%)、「希望者への戸別配布を充実すべき」(10.5%)、「業者委託などにより全戸配布を行うべき」(7.3%)などの順になっています。



区の情報の伝達度

『伝わっている(計)』が4割を超える

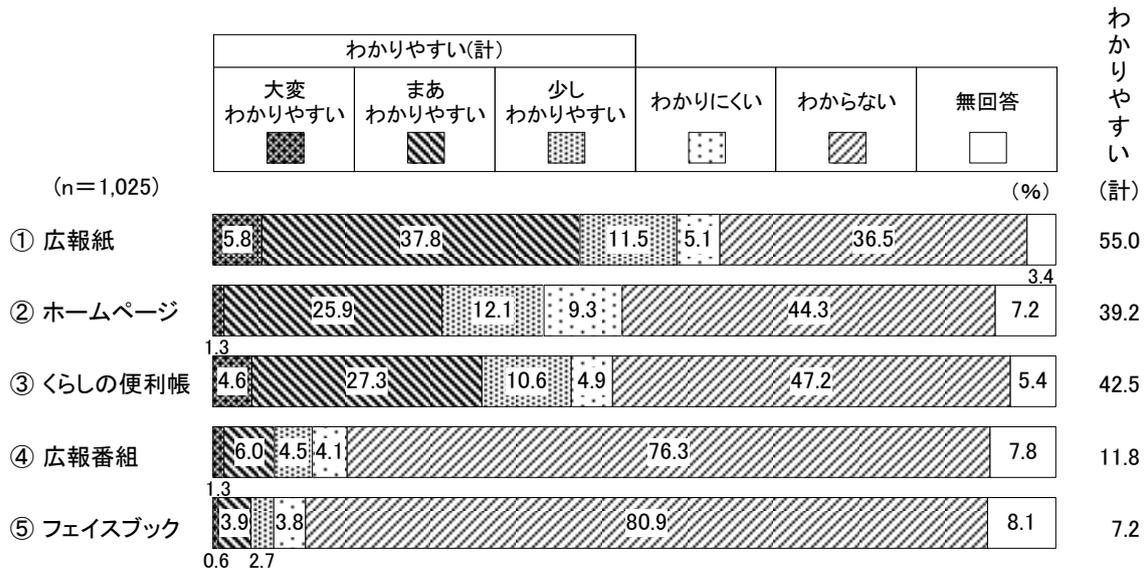
- ◆ 必要とする区の情報が伝わっているか聞いたところ、「十分に伝わっている」(1.8%)、「概ね伝わっている」(15.0%)、「必要なことは伝わっている」(27.1%)を合わせた『伝わっている(計)』(43.9%)は4割を超えています。一方、「伝わらないことが多い」(15.7%)が1割半ば、「まったく伝わっていない」(4.6%)はわずかとなっています。



区が発信する情報のわかりやすさ

【広報紙】は『わかりやすい(計)』が5割半ば

- ◆ 区が発信する情報のわかりやすさについて聞いたところ、「大変わかりやすい」、「まあわかりやすい」、「少しわかりやすい」を合わせた『わかりやすい(計)』は、【広報紙】(55.0%)が5割半ばで最も高く、次いで【くらしの便利帳】(42.5%)、【ホームページ】(39.2%)、【広報番組】(11.8%)、【フェイスブック】(7.2%)の順になっています。

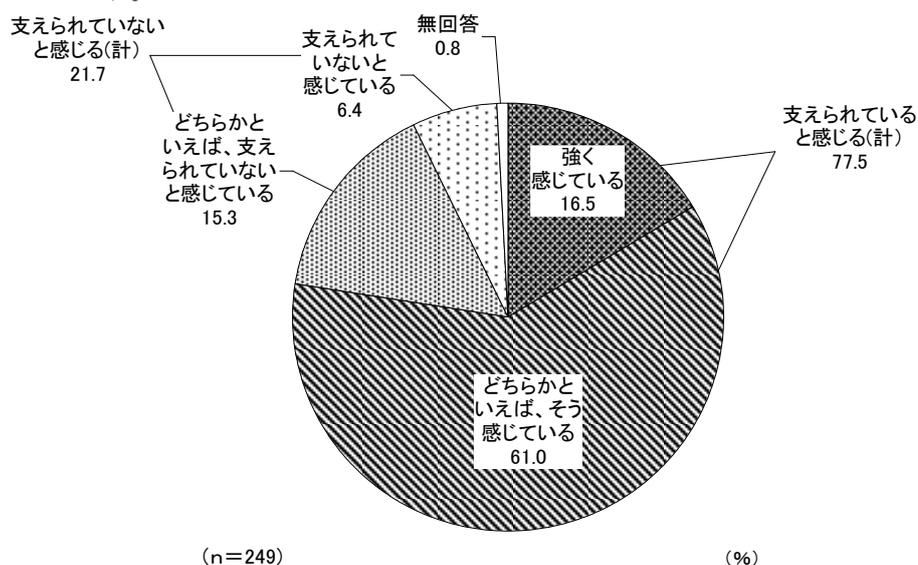


6. 子育て支援に関する意向について

地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる（計）』が8割近く

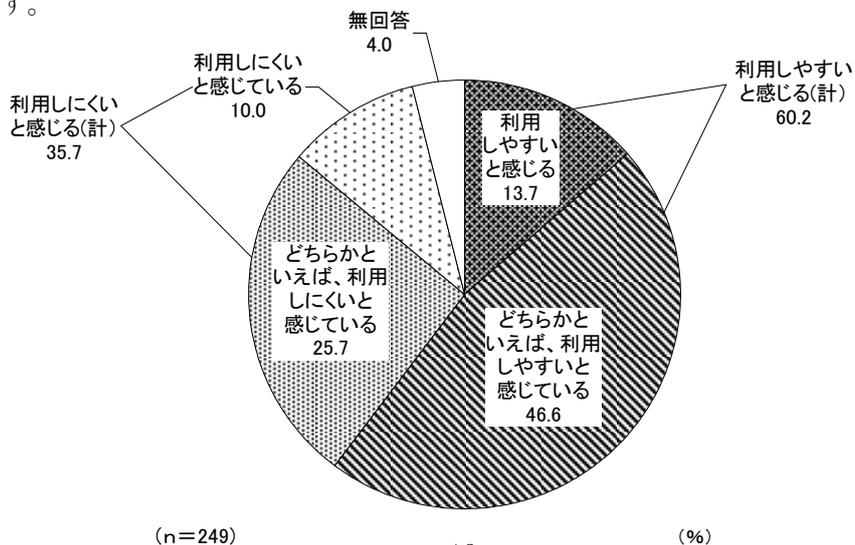
- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（249人）に、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」（61.0%）が6割を超え、これに「強く感じている」（16.5%）を合わせた『支えられていると感じる（計）』（77.5%）は8割近くとなっています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」（15.3%）と「支えられていないと感じている」（6.4%）を合わせた『支えられていないと感じる（計）』（21.7%）は2割を超えています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる（計）』が6割

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（249人）に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」（46.6%）が5割近くで、これに「利用しやすいと感じる」（13.7%）を合わせた『利用しやすいと感じる（計）』（60.2%）は6割となっています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」（25.7%）と「利用しにくいと感じている」（10.0%）を合わせた『利用しにくいと感じる（計）』（35.7%）は3割半ばとなっています。

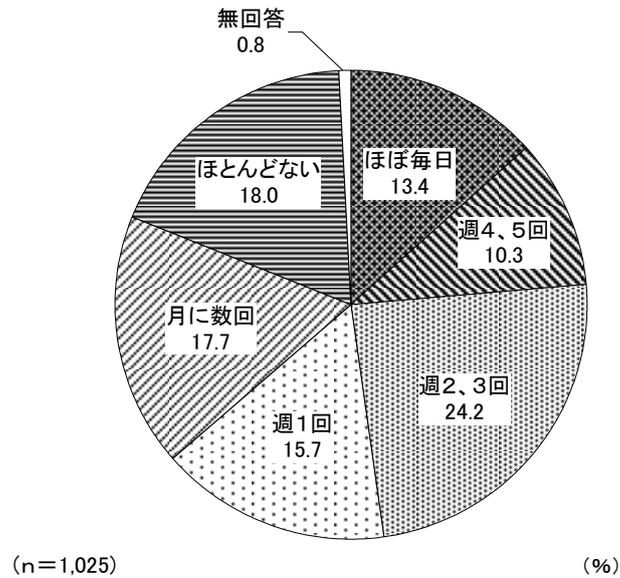


7. 商店街について

商店街の利用頻度

「週2、3回」が2割半ば

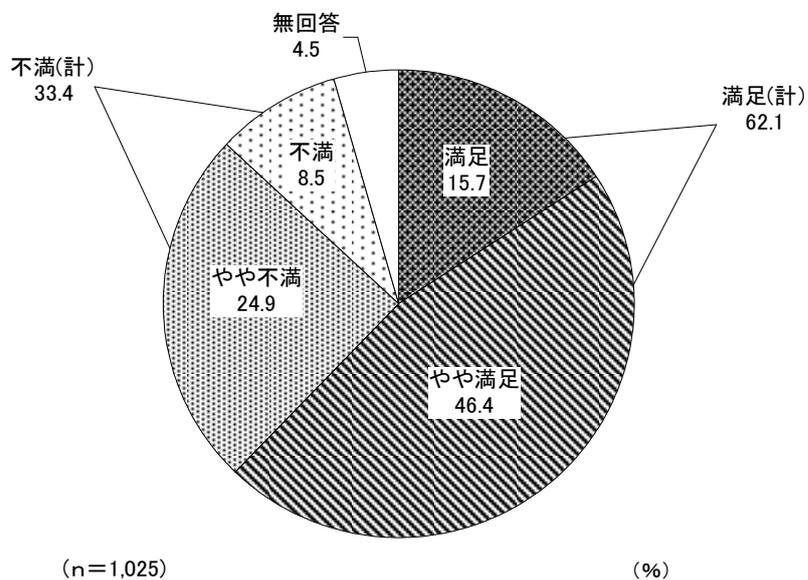
- ◆ 商店街の利用頻度について聞いたところ、「週2、3回」(24.2%)が2割半ばで最も高く、次いで「月に数回」(17.7%)、「週1回」(15.7%)、「ほぼ毎日」(13.4%)、「週4、5回」(10.3%)の順になっています。また、「ほとんどない」(18.0%)は2割近くとなっています。



商店街の満足度

『満足(計)』が6割を超える

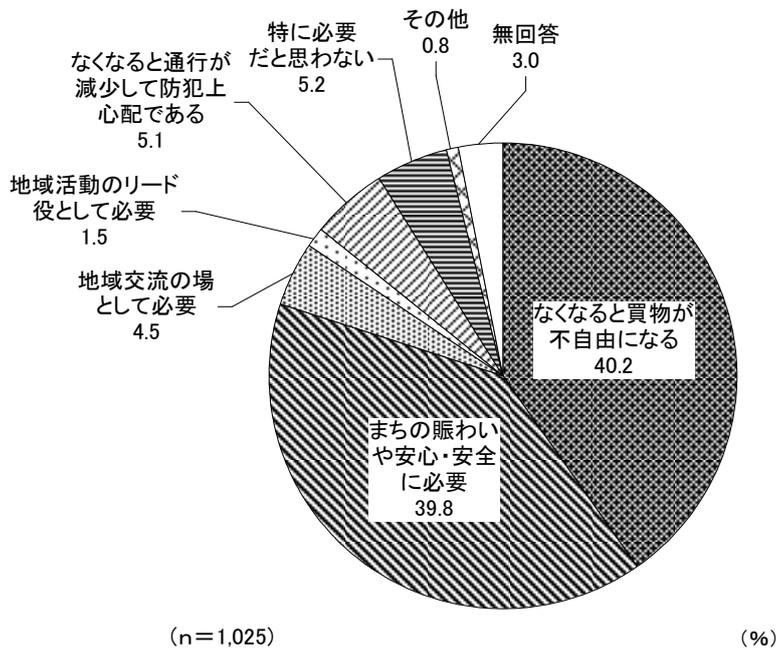
- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」(46.4%)が4割半ばで、これに「満足」(15.7%)を合わせた『満足(計)』(62.1%)は6割を超えています。一方、「やや不満」(24.9%)と「不満」(8.5%)を合わせた『不満(計)』(33.4%)は3割を超えています。



商店街が必要な理由

「なくなると買物が不自由になる」と「まちの賑わいや安心・安全に必要」が4割

- ◆ 商店街が必要な理由を聞いたところ、「なくなると買物が不自由になる」(40.2%)と「まちの賑わいや安心・安全に必要」(39.8%)が4割で、この2項目が特に高くなっています。次いで「なくなると通行が減少して防犯上心配である」(5.1%)、「地域交流の場として必要」(4.5%)、「地域活動のリード役として必要」(1.5%)の順になっています。一方、「特に必要だと思わない」(5.2%)は1割未満となっています。

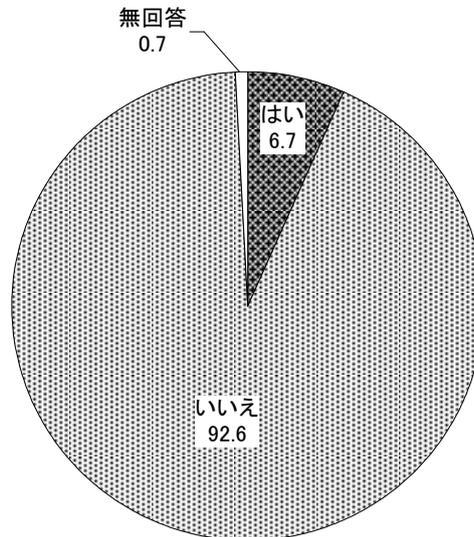


8. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況

「いいえ」(介護をしていない)が9割を超える

- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」(92.6%)が9割を超え、「はい」(6.7%)は1割未満となっています。



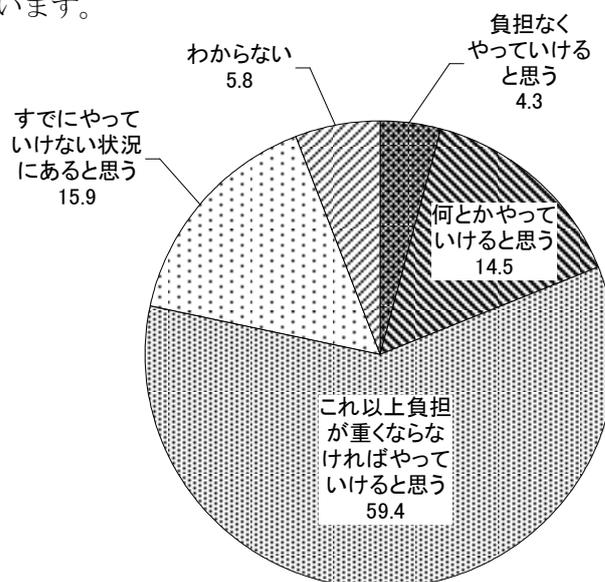
(n=1,025)

(%)

今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」がほぼ6割

- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人(69人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」(59.4%)がほぼ6割で最も高く、次いで「すでにやっていけない状況にあると思う」(15.9%)、「何とかやっていけると思う」(14.5%)などの順になっています。



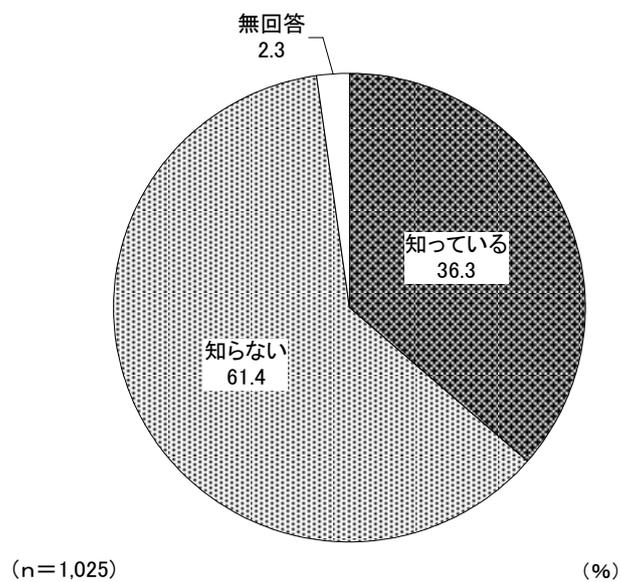
(n=69)

(%)

地域包括支援センター（ケア24）の認知度

「知っている」人が3割半ば

- ◆ 地域包括支援センター（ケア24）を知っているか聞いたところ、「知っている」（36.3%）は3割半ば、「知らない」（61.4%）が6割を超えています。

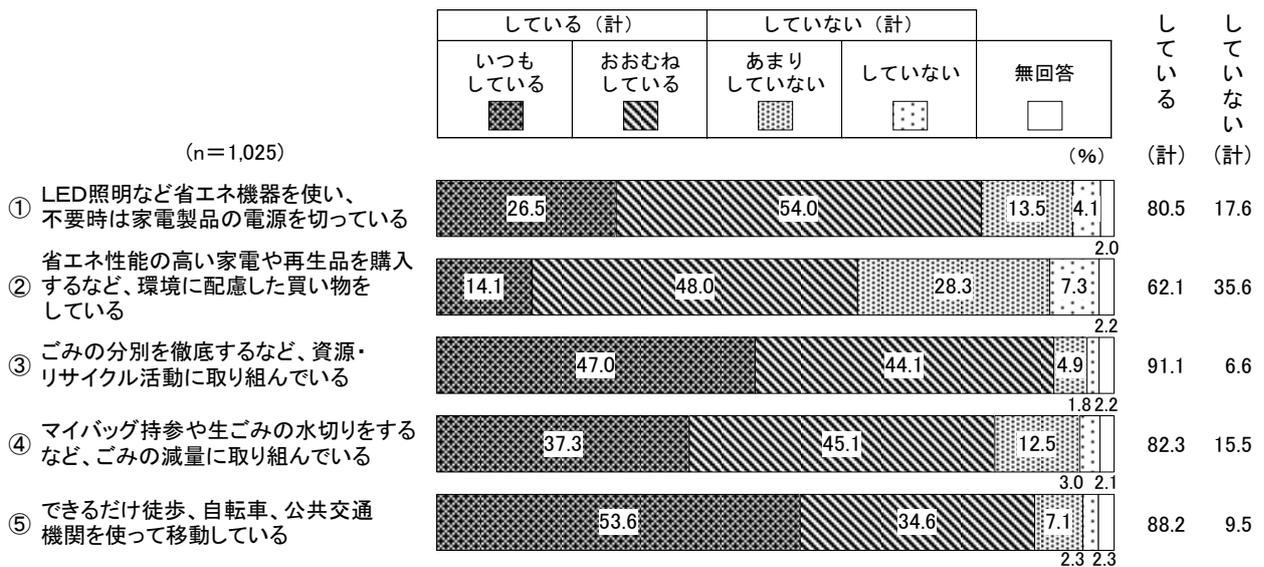


9. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取り組み

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】を『している』人が9割を超える

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している（計）』と答えた人は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】（91.1%）で9割を超え、【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】（88.2%）で9割近く、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】（82.3%）で8割を超え、【LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】（80.5%）ではほぼ8割となっています。一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない（計）』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】（35.6%）で3割半ばとなっています。

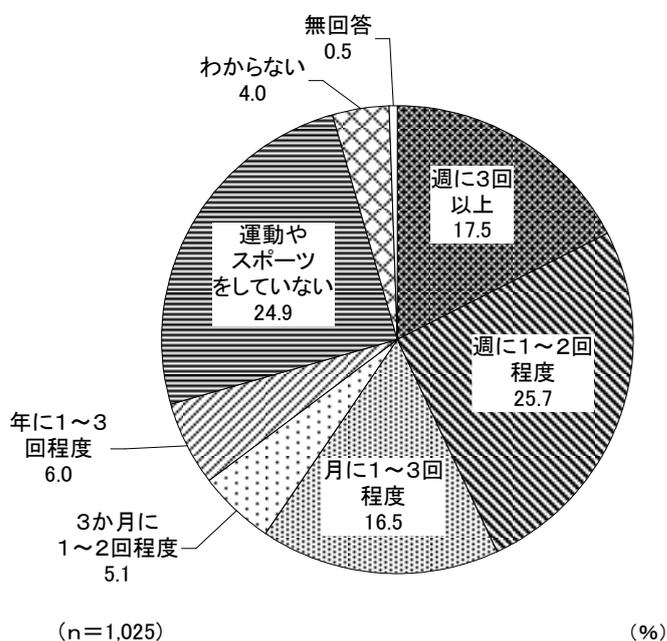


10. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」が2割半ば

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に1～2回程度」(25.7%)が2割半ばで最も高く、次いで「週に3回以上」(17.5%)、「月に1～3回程度」(16.5%)、「年に1～3回程度」(6.0%)、「3か月に1～2回程度」(5.1%)の順になっています。一方、「運動やスポーツをしていない」(24.9%)は2割半ばとなっています。

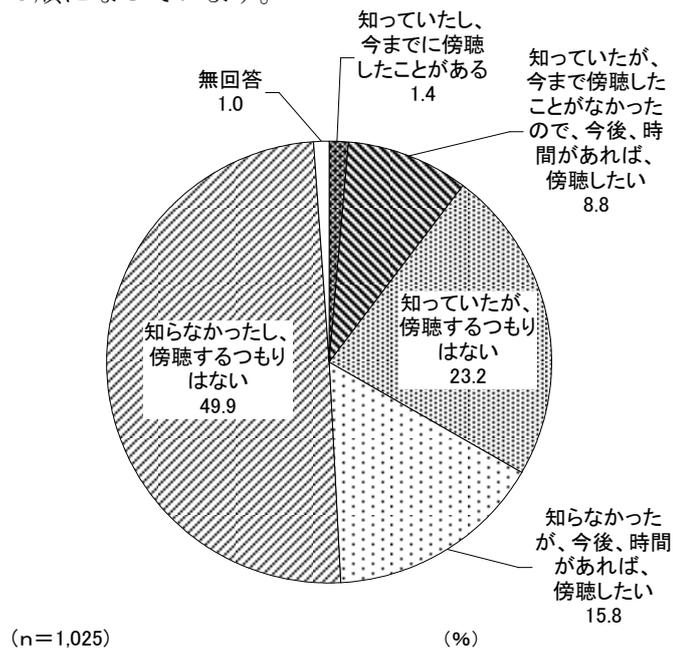


11. 区議会活動について

区議会の傍聴の認知度と傍聴経験

「知らなかったし、傍聴するつもりはない」人が5割

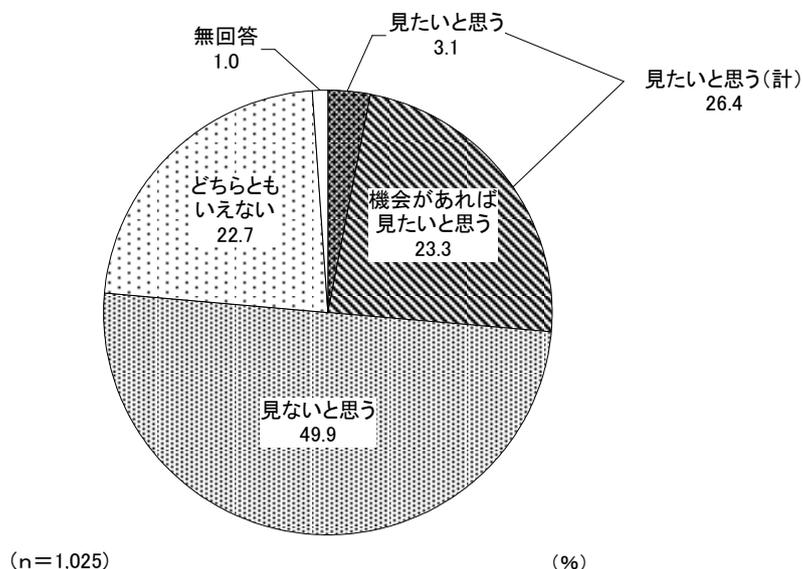
- ◆ 区議会の傍聴の認知度と傍聴経験について聞いたところ、「知らなかったし、傍聴するつもりはない」(49.9%)が5割で最も高く、次いで「知っていたが、傍聴するつもりはない」(23.2%)、「知らなかったが、今後、時間があれば、傍聴したい」(15.8%)、「知っていたが、今まで傍聴したことがなかったので、今後、時間があれば、傍聴したい」(8.8%)、「知っていたし、今までに傍聴したことがある」(1.4%)の順になっています。



各委員会のライブ中継・録画中継の視聴希望

『見たいと思う(計)』人が2割半ば

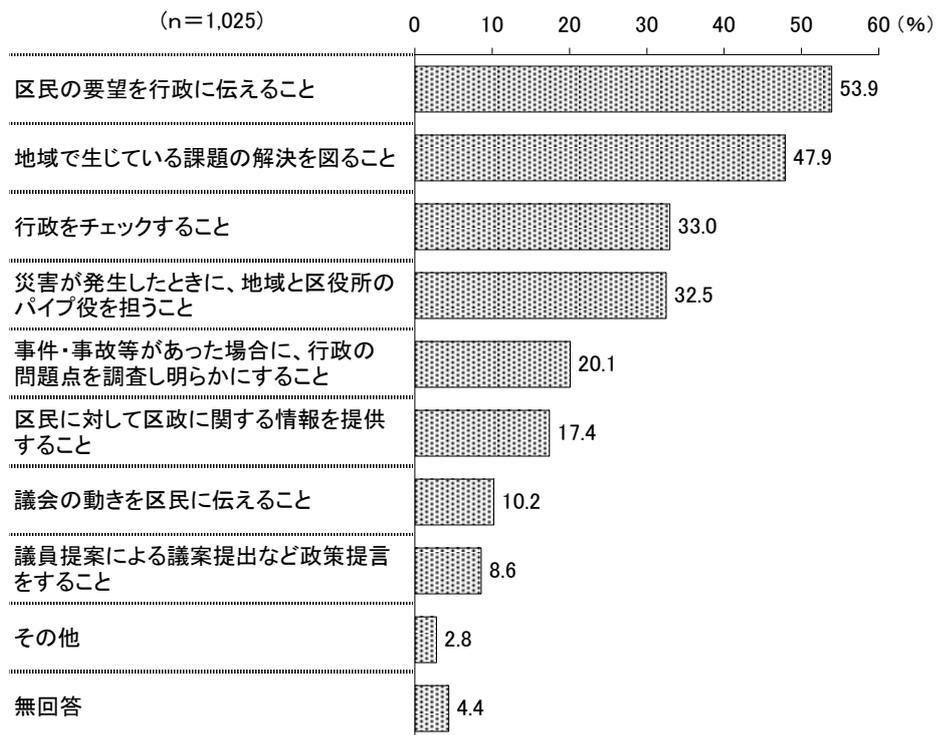
- ◆ 各委員会のライブ中継・録画中継の視聴希望を聞いたところ、「機会があれば見たいと思う」(23.3%)が2割を超え、これに「見たいと思う」(3.1%)を合わせた『見たいと思う(計)』(26.4%)は2割半ばとなっています。一方、「見ないと思う」(49.9%)が5割となっています。



区議会に期待すること

「区民の要望を行政に伝えること」が5割を超える

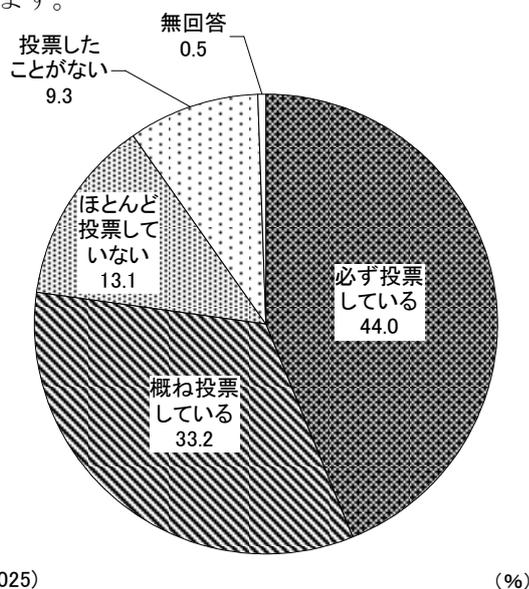
- ◆ 区議会に期待することを聞いたところ、「区民の要望を行政に伝えること」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「地域で生じている課題の解決を図ること」(47.9%)、「行政をチェックすること」(33.0%)、「災害が発生したときに、地域と区役所のパイプ役を担うこと」(32.5%)などの順になっています。



12. 選挙について

杉並区の選挙の投票頻度 「必ず投票している」人が4割半ば

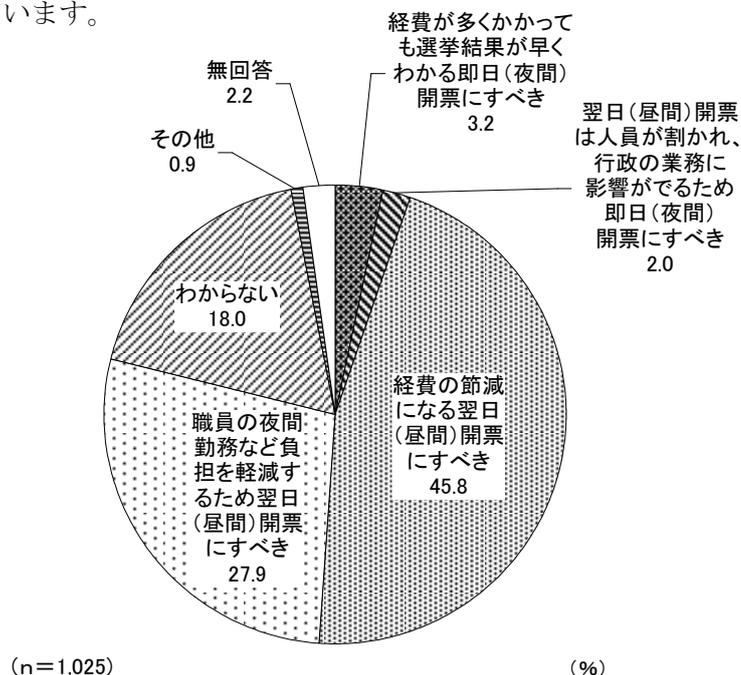
- ◆ 杉並区の選挙の投票頻度を聞いたところ、「必ず投票している」(44.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「概ね投票している」(33.2%)、「ほとんど投票していない」(13.1%)、「投票したことがない」(9.3%)の順になっています。



杉並区の選挙の開票日に対する考え

「経費の節減になる翌日(昼間)開票にすべき」が4割半ば

- ◆ 杉並区の選挙の開票日について聞いたところ、「経費の節減になる翌日(昼間)開票にすべき」(45.8%)が4割半ばで最も高く、次いで「職員の夜間勤務など負担を軽減するため翌日(昼間)開票にすべき」(27.9%)、「経費が多くかかっても選挙結果が早くわかる即日(夜間)開票にすべき」(3.2%)、「翌日(昼間)開票は人員が割かれ、行政の業務に影響がでるため即日(夜間)開票にすべき」(2.0%)の順になっています。

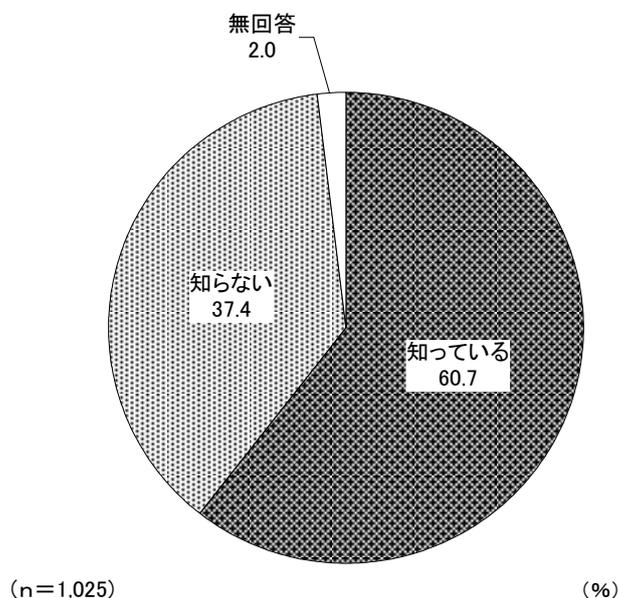


13. 水害ハザードマップの認知度について

「水害ハザードマップ」の認知度

「知っている」人がほぼ6割

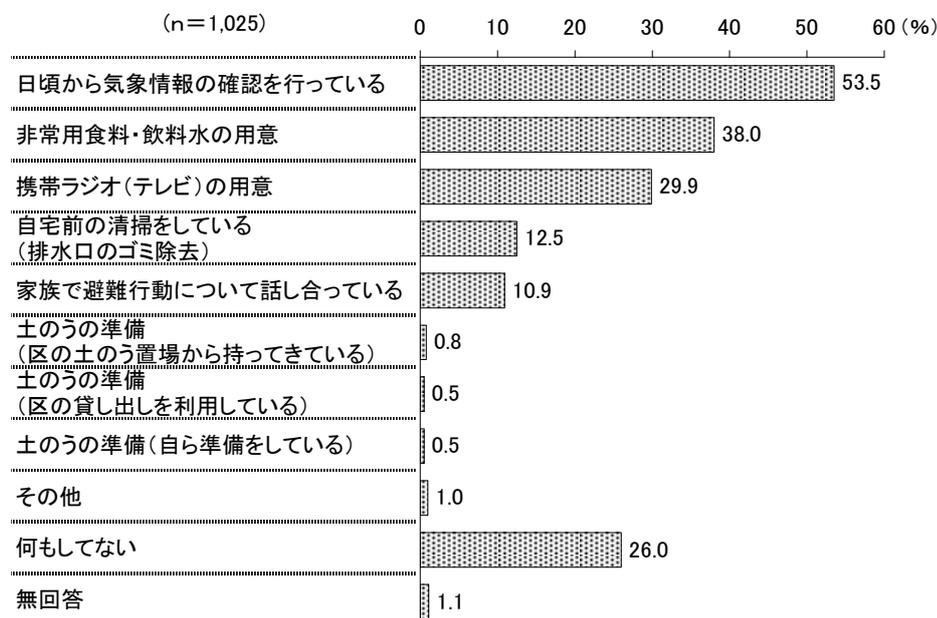
- ◆ 「水害ハザードマップ」を知っているか聞いたところ、「知っている」(60.7%)がほぼ6割、「知らない」(37.4%)は4割近くとなっています。



水害に対する備え

「日頃から気象情報の確認を行っている」が5割を超える

- ◆ 水害に対する備えを聞いたところ、「日頃から気象情報の確認を行っている」(53.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「非常用食料・飲料水の用意」(38.0%)、「携帯ラジオ(テレビ)の用意」(29.9%)、「自宅前の清掃をしている(排水口のゴミ除去)」(12.5%)、「家族で避難行動について話し合っている」(10.9%)などの順になっています。一方、「何もしてない」(26.0%)は2割半ばになっています。

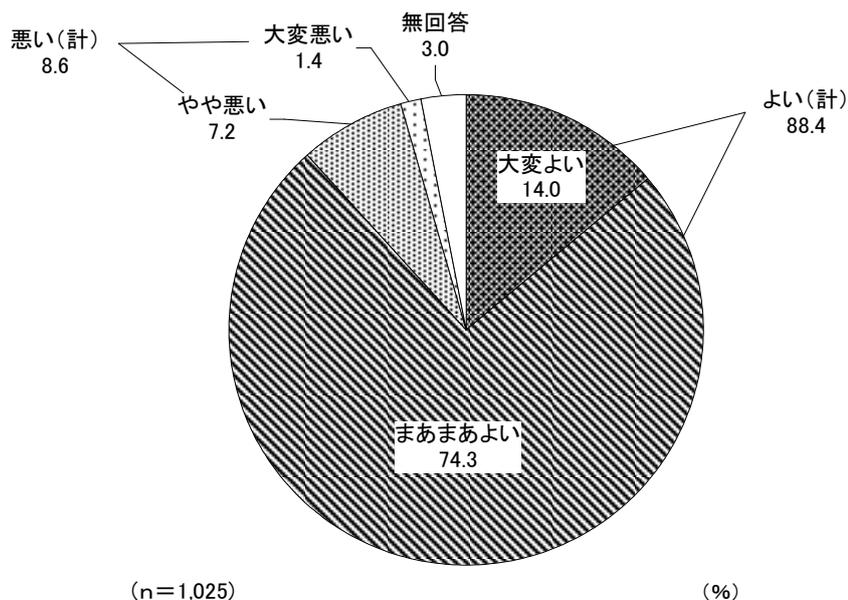


14. その他の区政について

区の職員の対応への印象

区役所の対応は『よい(計)』が9割近く

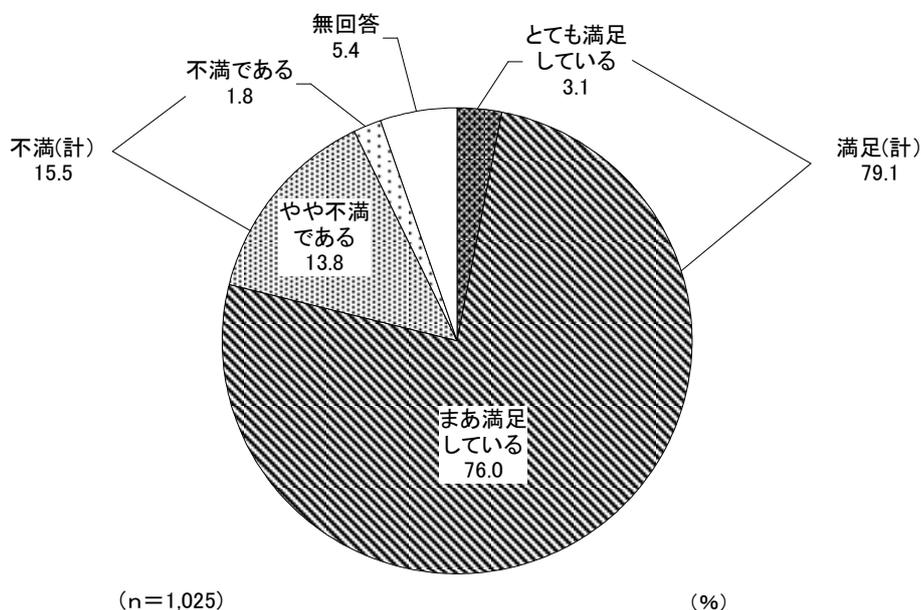
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」(74.3%)が7割半ばで、これに「大変よい」(14.0%)を合わせた『よい(計)』(88.4%)は9割近くとなっています。一方、「やや悪い」(7.2%)と「大変悪い」(1.4%)を合わせた『悪い(計)』(8.6%)は1割未満となっています。



区の事業やサービスの満足度

『満足(計)』がほぼ8割

- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(76.0%)が7割半ばで、これに「とても満足している」(3.1%)を合わせた『満足(計)』(79.1%)はほぼ8割となっています。一方、「やや不満である」(13.8%)と「不満である」(1.8%)を合わせた『不満(計)』(15.5%)は1割半ばとなっています。

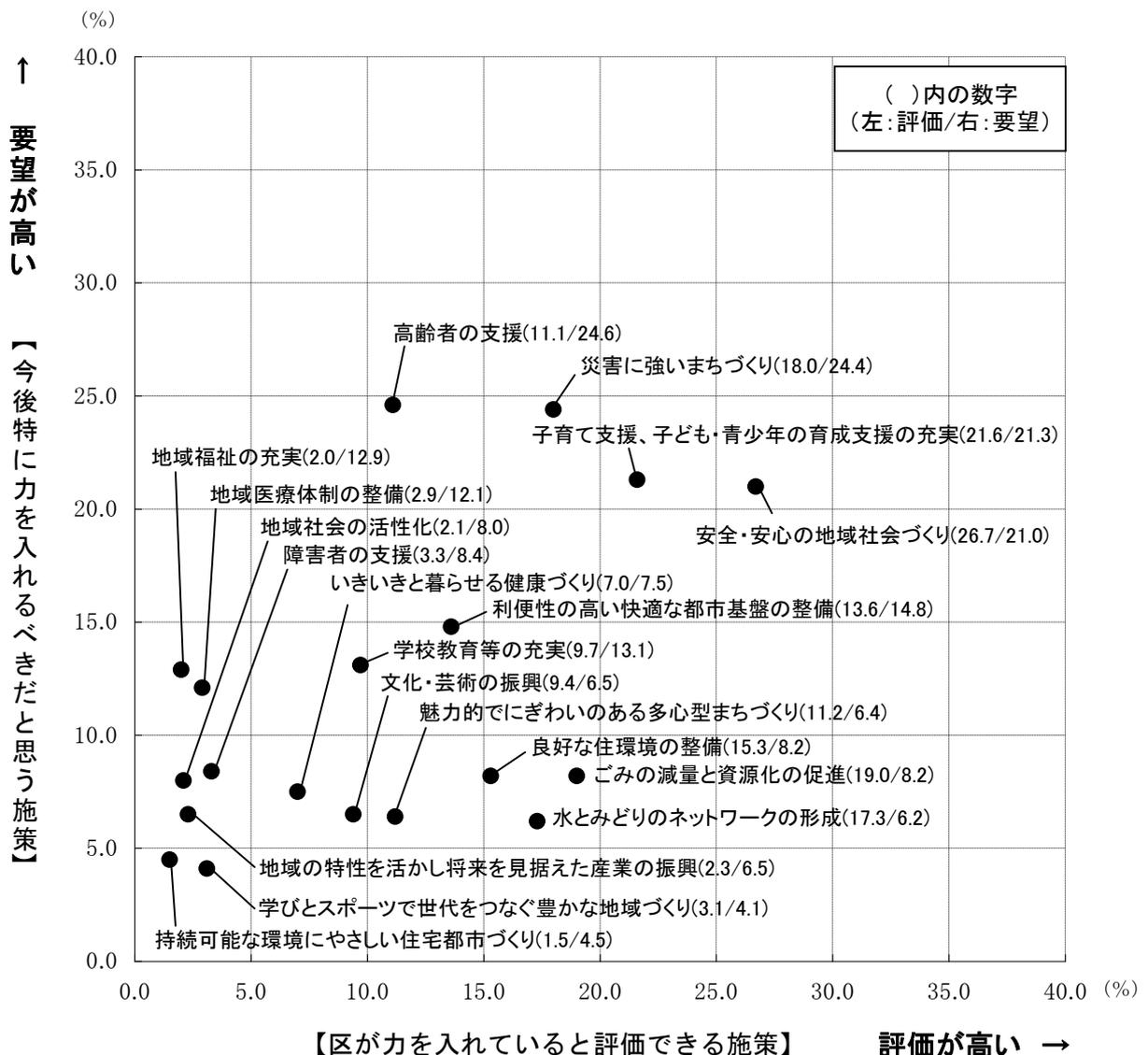


杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「安全・安心の地域社会づくり」が3割近く

施策の要望では「高齢者の支援」と「災害に強いまちづくり」が2割半ば

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「安全・安心の地域社会づくり」(26.7%)が3割近くで最も高く、次いで「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(21.6%)、「ごみの減量と資源化の促進」(19.0%)、「災害に強いまちづくり」(18.0%)、「水とみどりのネットワークの形成」(17.3%)などの順になっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「高齢者の支援」(24.6%)と「災害に強いまちづくり」(24.4%)が2割半ばで高く、次いで「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(21.3%)、「安全・安心の地域社会づくり」(21.0%)などの順になっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策(施策の評価)と今後特に力を入れるべきだと思う施策(施策の要望)を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域(左上方)にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**



第51回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態
(要約版)

令和元年10月発行

発行 杉並区 総務部 区政相談課
東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
電話：03-3312-2111 (代)

登録印刷物番号

31-0064

実施 株式会社エスピー研
東京都千代田区飯田橋3-11-20
電話：03-3239-0071 (代)